



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社 不二家
コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 宣行

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長 (氏名) 佐野 正樹

TEL 03-5978-8100

定時株主総会開催予定日 2025年3月25日 配当支払開始予定日 2025年3月26日

有価証券報告書提出予定日 2025年3月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績(2024年1月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	109,984	4.2	2,298	67.2	3,130	48.7	1,672	72.5
2023年12月期	105,534	4.9	1,374	△68.3	2,104	△62.0	969	△71.3

(注) 包括利益 2024年12月期 3,471百万円 (40.4%) 2023年12月期 2,473百万円 (△43.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	64.90	—	2.9	3.6	2.1
2023年12月期	37.62	—	1.7	2.5	1.3

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 627百万円 2023年12月期 518百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	90,466	63,067	64.0	2,246.82
2023年12月期	83,125	60,640	67.3	2,170.11

(参考) 自己資本 2024年12月期 57,913百万円 2023年12月期 55,936百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	4,260	△6,905	1,746	7,016
2023年12月期	6,775	△7,967	△1,240	7,781

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00	773	79.7	1.4
2024年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00	773	46.2	1.4
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		43.0	

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,000	7.2	1,200	10.3	1,700	2.9	900	6.1	34.92
通期	118,000	7.3	2,500	8.8	3,200	2.2	1,800	7.6	69.83

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期	25,784,659 株	2023年12月期	25,784,659 株
② 期末自己株式数	2024年12月期	9,000 株	2023年12月期	8,779 株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	25,775,776 株	2023年12月期	25,775,957 株

(参考)個別業績の概要

2024年12月期の個別業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	82,226	6.3	556	—	1,127	474.1	933	165.8
2023年12月期	77,386	3.7	△572	—	196	△94.6	351	△86.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期	36.20	—
2023年12月期	13.62	—

売上高は、既存品の拡販、新製品の展開及び新規販路への取り組みなど様々な施策を実行した結果、822億26百万円(対前期比106.3%)と、前期の実績を上回りました。

利益面では、洋菓子事業についてはケーキ類の集約生産、新たな生産設備の導入による省人化、効率化の取り組みを実施したことや、菓子事業については、主力生産ラインの稼働促進による生産性の向上等により、営業利益は5億56百万円(前期は5億72百万円の営業損失)、経常利益は11億27百万円(対前期比574.1%)、当期純利益は9億33百万円(対前期比265.8%)となりました。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	65,844	43,437	66.0	1,685.20
2023年12月期	60,150	43,251	71.9	1,677.98

(参考) 自己資本 2024年12月期 43,437百万円 2023年12月期 43,251百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府の各種施策の効果により景気は緩やかに回復しておりますが、食品業界においては、原材料・エネルギー価格の高騰や値上げに対するお客様の節約志向の高まりにより、厳しい状況となりました。

このような状況下において当社グループは、お客様に、より良い商品と最善のサービスの提供を心掛け、売上と利益の確保につとめてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、1,099億84百万円（対前期比104.2%）、営業利益は22億98百万円（対前期比167.2%）、経常利益は31億30百万円（対前期比148.7%）、親会社株主に帰属する当期純利益は16億72百万円（対前期比172.5%）となり、増収増益とすることができました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当連結会計年度(第130期)		前連結会計年度(第129期)		対前年同期比	増減
		2024年1月1日から 2024年12月31日まで		2023年1月1日から 2023年12月31日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
洋菓子事業	洋菓子	百万円 24,755	% 22.5	百万円 25,188	% 23.9	% 98.3	百万円 △433
	レストラン	6,129	5.6	5,712	5.4	107.3	417
	計	30,884	28.1	30,900	29.3	99.9	△16
製菓事業	菓子	71,286	64.8	66,927	63.4	106.5	4,359
	飲料	4,391	4.0	4,479	4.2	98.0	△88
	計	75,677	68.8	71,407	67.6	106.0	4,270
その他		3,422	3.1	3,227	3.1	106.0	194
合計		109,984	100.0	105,534	100.0	104.2	4,449

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子事業においては、洋菓子チェーン店にて『プレミアム製品』をはじめとする主力製品の品質向上に取り組むとともに、『厳選素材製品』や月ごとに旬のフルーツを使用した『ショートケーキ12の花物語』シリーズの販売に注力し、売上の向上につとめました。また、前期に刷新したV I（ビジュアルアイデンティティ）に基づき、これまで62店の店舗改装を実施したほか、新業態店舗「ペコちゃん milky ドーナツ」や「FUJIYA CONFECTIONERY」ブランドの店舗を出店し、新規顧客の獲得をはかりました。販路の拡大に取り組むべく、商業施設や駅などに冷凍スイーツ自動販売機の設置を推進し、当連結会計年度末における設置数は260台（前期差191台増）となっております。なお、同時点における不二家洋菓子店の営業店舗数は、不採算店や後継者不足等によるフランチャイズ店の閉鎖により892店（前期差47店減）となっております。

広域流通企業との取り組みについては、コンビニエンスストア向けに「マカロン」など当社の技術力を活かした製品や、外食チェーン企業向けに生産性の高い製造ラインを活用した製品の提案を積極的に行い、売上の確保につとめました。

レストラン事業では、メニュー改善及び価格の一部見直しを実施し、客数及び客単価アップをはかりました。また、イオンモール幕張新都心店の新規開店や神戸アンパンマン&ペコズキッチン店をはじめとする既存店の改装効果もあり、売上は前期の実績を上回りました。

以上の結果、当連結会計年度における洋菓子事業全体の売上高は308億84百万円（対前期比99.9%）となりました。利益面では、ケーキ類の集約生産の実施や新たな生産設備の導入による省人化、効率化の取り組みにより、収益性の改善を進めることができました。

<製菓事業>

当社単体の菓子事業においては、『カントリーマアム』や『ホームパイ』、『ハート』シリーズなどの大袋製品の販売に注力し、売場の拡大をはかりました。また、当社の技術力を活かした新たなカテゴリーの製品として、朝食需要を見据えた食物繊維入りの『モーニングマアム』やしっとり濃厚な焼菓子の新ブランド『スーパーハイウェイ』シリーズを発売し、新規顧客の獲得につとめました。原材料価格が高騰しているチョコレート製品については、価格改定や内容量変更を実施したほか、『ルック』において素材にこだわったワンランク上の製品として「プレミアムルック」を発売し、テレビコマーシャルやデジタル広告配信等の販売促進活動の推進により、売上は好調に推移いたしました。

上記の結果、単体の菓子事業の売上は前期の実績を上回りました。

飲料事業については、「プレミアムネクター320mlPET」や季節限定の新製品を発売いたしましたが、前期の売上を確保するには至りませんでした。

不二家（杭州）食品有限公司においては、春節需要の復調はあったものの、中国国内の景気減速の影響が大きく、売上は前期の実績を下回りました。なお、今期より新たに製造を開始したグミ製品や他社キャラクターとのコラボレーション製品の拡販に取り組み、売上は回復基調となっております。

以上の結果、当連結会計年度における製菓事業全体の売上高は756億77百万円（対前期比106.0%）となりました。利益面では、主力生産ラインの稼働促進による生産性の向上等により、前期の実績を上回りました。

<その他>

ライセンス事業、不動産賃貸事業及び㈱不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務の売上高は34億22百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。

流動資産は354億6百万円で、前連結会計年度末に比べ13億83百万円増加いたしました。固定資産は550億60百万円で、主に有形固定資産の増により前連結会計年度末に比べ59億57百万円増加いたしました。この結果、総資産は904億66百万円で前連結会計年度末に比べ73億41百万円増加いたしました。

また、流動負債は244億55百万円で、主に短期借入金やその他に含まれる設備電子記録債務の増により前連結会計年度末に比べ51億39百万円増加いたしました。固定負債は29億43百万円で、主に退職給付に係る負債の減により前連結会計年度末に比べ2億24百万円減少いたしました。この結果、負債合計は273億99百万円で前連結会計年度末に比べ49億14百万円増加いたしました。

純資産は630億67百万円で、主に利益剰余金や為替換算調整勘定の増により前連結会計年度に比べ24億26百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は64.0%（前期は67.3%）となり、1株当たり純資産は2,246円82銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローにつきましては、当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて7億65百万円減少し、70億16百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は、42億60百万円(前連結会計年度は67億75百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、69億5百万円(前連結会計年度は79億67百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動の結果得られた資金は、17億46百万円(前連結会計年度は12億40百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
自己資本比率	67.6	68.5	65.6	67.3	64.0
時価ベースの自己資本比率	84.9	77.1	78.0	75.4	75.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.2	0.1	0.2	0.1	0.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	475.3	813.1	616.9	891.7	340.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュフロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く経済環境につきましては、食品値上げによるお客様の節約志向に加え、原材料・エネルギー価格の高騰や人件費の上昇の懸念もあり、依然として厳しい状況が続くと予測されます。

このような状況にあって当社グループは、洋菓子、製菓の両事業を併せ持つという強みを活かして売上と利益の確保につとめてまいります。

各事業別の対処すべき課題は次のとおりです。

<洋菓子事業>

洋菓子では、原材料・エネルギー価格の高騰等に対して、生産ラインの省人化や生産能力増強による効率化を促進し、生産性向上をはかることにより対応してまいります。

チェーン店においては、洋菓子店のV I（ビジュアルアイデンティティ）に基づいた既存店の改装や「ペコちゃん milky ドーナツ」の新規出店を推進してまいります。

製品施策においては、月ごとに季節や行事などのイメージを色で表現した「ショートケーキ12の色物語」や産地・品種にこだわった原料を使用した洋菓子製品などの品揃えの充実をはかり、お客様に選ぶ楽しさを提供してまいります。

人件費の上昇に対しては、洋菓子店舗の勤怠管理にA Iを活用して業務の効率化をはかるなど、収益性の確保に取り組むとともに、冷凍スイーツ自動販売機の設置を推進してまいります。

広域流通企業との取り組みについては、外食チェーン企業向けの製品提案や海外輸出の強化を通じて、販路の開拓につとめてまいります。

レストランでは、ケーキ類の拡販やメニュー強化に取り組むとともに、V Iに基づいた既存店の改装を実施し、売上の拡大に繋げてまいります。

<製菓事業>

菓子では、カカオ豆をはじめとする原材料価格の急激な上昇等に対して、製品価格の見直しを実施するほか、新規設備の導入により品質向上やコスト改善をはかり、主力生産ラインの稼働を促進させて生産性向上につとめてまいります。また、富士裾野工場の地下より汲み上げた天然水を活用し、天然水市場に参入するとともに、災害発生時においては被災地の復興支援に役立ててまいります。

製品施策においては、主力ブランドの大袋製品を新たに発売するとともに、テレビコマーシャルやデジタル広告配信等の販売促進活動を積極的に展開し、既存の大袋製品とともにさらなる売上の拡大をはかります。

海外事業の不二家（杭州）食品有限公司においては、中国経済停滞の影響が懸念されますが、主力製品の「ポッ

「プキャンディ」を軸に、新規設備を導入して生産を開始したグミ製品の拡販や業務提携によるキャラクター菓子製品の受注生産に注力するなど、売上確保に取り組んでまいります。

ベトナムにおいては、設立した合弁会社において、本年10月の工場稼働に向け、現地における販売活動及び新製品開発を促進し、海外事業の売上伸長を目指してまいります。

上記すべての事業活動において安全・安心な製品の製造・販売に際し、FSSC22000（食品安全マネジメントシステムに関する国際規格）を含め、事業の基盤となる食品安全衛生管理を着実に実行するとともに、労災ゼロ、異物混入クレームゼロを目標に、業務に取り組んでまいります。

当社グループを取り巻く環境は、厳しい状況が続くと思われませんが、前記の各施策を着実に実行し、堅実に業績を確保できるようつとめてまいります。

以上により、通期の連結業績は、売上高1,180億円、営業利益25億円、経常利益32億円、親会社株主に帰属する当期純利益18億円と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間比較可能性を考慮し、会計基準は日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,813	8,371
受取手形及び売掛金	16,443	17,621
商品及び製品	3,663	4,243
仕掛品	333	478
原材料及び貯蔵品	2,652	3,706
その他	1,301	1,158
貸倒引当金	△185	△173
流動資産合計	34,022	35,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,762	39,443
減価償却累計額	△25,859	△26,113
建物及び構築物（純額）	11,903	13,329
機械装置及び運搬具	61,885	66,002
減価償却累計額	△48,941	△51,330
機械装置及び運搬具（純額）	12,943	14,671
工具、器具及び備品	4,802	4,936
減価償却累計額	△3,983	△4,112
工具、器具及び備品（純額）	819	824
土地	7,086	7,390
リース資産	2,748	2,983
減価償却累計額	△2,149	△2,084
リース資産（純額）	599	899
建設仮勘定	2,188	2,793
有形固定資産合計	35,540	39,908
無形固定資産		
商標権	514	457
ソフトウェア	849	737
その他	432	474
無形固定資産合計	1,796	1,669
投資その他の資産		
投資有価証券	6,530	6,858
長期貸付金	251	231
繰延税金資産	1,175	1,216
敷金及び保証金	2,035	1,998
退職給付に係る資産	512	677
その他	1,381	2,625
貸倒引当金	△121	△126
投資その他の資産合計	11,765	13,481
固定資産合計	49,102	55,060
資産合計	83,125	90,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,082	8,493
短期借入金	960	3,960
リース債務	198	199
未払金	2,992	3,112
返金負債	2,390	2,544
未払法人税等	525	893
賞与引当金	451	499
その他	3,715	4,752
流動負債合計	19,316	24,455
固定負債		
リース債務	296	564
繰延税金負債	257	255
退職給付に係る負債	1,733	1,258
役員退職慰労引当金	66	70
その他	814	793
固定負債合計	3,168	2,943
負債合計	22,484	27,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,060	4,060
利益剰余金	31,440	32,339
自己株式	△17	△17
株主資本合計	53,763	54,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244	279
繰延ヘッジ損益	-	4
為替換算調整勘定	1,367	2,003
退職給付に係る調整累計額	561	962
その他の包括利益累計額合計	2,172	3,250
非支配株主持分	4,704	5,153
純資産合計	60,640	63,067
負債純資産合計	83,125	90,466

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	105,534	109,984
売上原価	71,744	73,534
売上総利益	33,790	36,450
販売費及び一般管理費	32,415	34,151
営業利益	1,374	2,298
営業外収益		
受取利息	59	68
受取配当金	59	67
持分法による投資利益	518	627
保険解約返戻金	81	52
雑収入	111	134
営業外収益合計	830	949
営業外費用		
支払利息	7	12
支払補償費	20	56
雑損失	72	49
営業外費用合計	100	118
経常利益	2,104	3,130
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	20	-
関係会社株式売却益	390	592
特別利益合計	410	593
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産廃棄損	53	410
減損損失	32	118
投資有価証券評価損	2	-
支払補償費	69	-
その他	9	82
特別損失合計	167	612
税金等調整前当期純利益	2,347	3,111
法人税、住民税及び事業税	921	1,188
法人税等調整額	△57	△225
法人税等合計	863	963
当期純利益	1,484	2,148
非支配株主に帰属する当期純利益	514	475
親会社株主に帰属する当期純利益	969	1,672

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益	1,484	2,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146	37
為替換算調整勘定	440	850
退職給付に係る調整額	363	401
持分法適用会社に対する持分相当額	38	34
その他の包括利益合計	989	1,323
包括利益	2,473	3,471
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,792	2,750
非支配株主に係る包括利益	681	721

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,280	4,060	31,243	△16	53,567
当期変動額					
剰余金の配当			△773		△773
親会社株主に帰属する当期純利益			969		969
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社株式の取得による持分の増減					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	196	△0	196
当期末残高	18,280	4,060	31,440	△17	53,763

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	138	△26	1,040	197	1,350	4,247	59,165
当期変動額							
剰余金の配当							△773
親会社株主に帰属する当期純利益							969
自己株式の取得							△0
連結子会社株式の取得による持分の増減							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	105	26	326	363	822	456	1,279
当期変動額合計	105	26	326	363	822	456	1,475
当期末残高	244	-	1,367	561	2,172	4,704	60,640

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,280	4,060	31,440	△17	53,763
当期変動額					
剰余金の配当			△773		△773
親会社株主に帰属する当期純利益			1,672		1,672
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社株式の取得による持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	△0	899	△0	898
当期末残高	18,280	4,060	32,339	△17	54,662

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	244	-	1,367	561	2,172	4,704	60,640
当期変動額							
剰余金の配当							△773
親会社株主に帰属する当期純利益							1,672
自己株式の取得							△0
連結子会社株式の取得による持分の増減							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	35	4	636	401	1,077	449	1,527
当期変動額合計	35	4	636	401	1,077	449	2,426
当期末残高	279	4	2,003	962	3,250	5,153	63,067

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,347	3,111
減価償却費	5,083	5,170
減損損失	32	118
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	△7
返金負債の増減額 (△は減少)	330	127
受取利息及び受取配当金	△118	△135
支払利息	7	12
持分法による投資損益 (△は益)	△518	△627
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
固定資産廃棄損	53	410
関係会社株式売却損益 (△は益)	△390	△592
支払補償費	90	56
売上債権の増減額 (△は増加)	△560	△1,090
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,369	△1,731
仕入債務の増減額 (△は減少)	△398	361
未払金の増減額 (△は減少)	△24	106
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	60	△29
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	16	△32
その他	692	△608
小計	8,048	4,618
利息及び配当金の受取額	264	294
利息の支払額	△7	△11
法人税等の支払額	△1,439	△583
その他	△90	△56
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,775	4,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	293	853
子会社株式の取得による支出	-	△16
関係会社出資金の払込による支出	-	△1,172
関係会社株式の売却による収入	572	909
有形固定資産の取得による支出	△8,499	△6,684
有形固定資産の売却による収入	7	0
無形固定資産の取得による支出	△288	△197
敷金及び保証金の差入による支出	△74	△46
敷金及び保証金の回収による収入	58	91
その他	△36	△643
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,967	△6,905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	3,000
リース債務の返済による支出	△244	△210
配当金の支払額	△770	△770
非支配株主への配当金の支払額	△224	△271
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,240	1,746
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	133
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,362	△765
現金及び現金同等物の期首残高	10,144	7,781
現金及び現金同等物の期末残高	7,781	7,016

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「洋菓子事業」及び「製菓事業」の2つを報告セグメントとしております。

「洋菓子事業」は、ケーキ、ベーカリー、デザート等の洋菓子類の販売と飲食店の運営をしております。「製菓事業」は、チョコレート、キャンディ、ビスケット等菓子類と飲料、乳製品等の販売をしております。

II 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

事業セグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。

III 前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 4, 5, 6	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	25,188	—	25,188	—	25,188	—	25,188
レストラン	5,712	—	5,712	—	5,712	—	5,712
菓子	—	66,927	66,927	—	66,927	—	66,927
飲料	—	4,479	4,479	—	4,479	—	4,479
その他	—	—	—	3,025	3,025	—	3,025
顧客との契約から生じる収益	30,900	71,407	102,307	3,025	105,332	—	105,332
その他の収益	—	—	—	202	202	—	202
外部顧客への売上高	30,900	71,407	102,307	3,227	105,534	—	105,534
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	431	432	480	912	△912	—
計	30,900	71,838	102,739	3,707	106,447	△912	105,534
セグメント損益(△は損失)	△1,973	7,108	5,134	564	5,699	△4,324	1,374
セグメント資産	21,941	46,354	68,296	2,493	70,790	12,335	83,125
その他の項目							
減価償却費	1,215	3,441	4,656	107	4,764	318	5,083
持分法適用会社への投資額	2,582	—	2,582	—	2,582	2,585	5,167
有形固定資産及び無形固定資 産等の増加額	2,085	2,921	5,006	1,278	6,285	623	6,908

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。
- 2 セグメント損益(△は損失)の調整額△4,324百万円には、その他の調整額5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,329百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。
- 3 セグメント損益(△は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 セグメント損益(△は損失)の額の算定に含まれておりませんが、取締役会に対して、持分法投資利益が定期的に提供され使用されております。
(洋菓子事業) 518百万円
- 5 セグメント資産の調整額12,335百万円は全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、未収入金及び本社の管理部門に係る資産等であります。
- 6 その他の項目の減価償却費の調整額318百万円は全社費用に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額623百万円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産等ではありません。

IV 当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 4, 5, 6	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	24,755	—	24,755	—	24,755	—	24,755
レストラン	6,129	—	6,129	—	6,129	—	6,129
菓子	—	71,286	71,286	—	71,286	—	71,286
飲料	—	4,391	4,391	—	4,391	—	4,391
その他	—	—	—	3,215	3,215	—	3,215
顧客との契約から生じる収益	30,884	75,677	106,562	3,215	109,777	—	109,777
その他の収益	—	—	—	207	207	—	207
外部顧客への売上高	30,884	75,677	106,562	3,422	109,984	—	109,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	374	374	468	843	△843	—
計	30,884	76,052	106,937	3,890	110,827	△843	109,984
セグメント損益(△は損失)	△1,140	7,467	6,326	543	6,869	△4,571	2,298
セグメント資産	24,379	51,110	75,489	3,273	78,763	11,703	90,466
その他の項目							
減価償却費	1,311	3,413	4,725	117	4,843	327	5,170
持分法適用会社への投資額	2,427	—	2,427	—	2,427	2,923	5,351
有形固定資産及び無形固定資 産等の増加額	3,341	5,241	8,582	62	8,644	366	9,010

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。
- 2 セグメント損益(△は損失)の調整額△4,571百万円には、その他の調整額△8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,562百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。
- 3 セグメント損益(△は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 セグメント損益(△は損失)の額の算定に含まれておりませんが、取締役会に対して、持分法投資利益が定期的に提供され使用されております。
(洋菓子事業) 627百万円
- 5 セグメント資産の調整額11,703百万円は全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、未収入金及び本社の管理部門に係る資産等であります。

- 6 その他の項目の減価償却費の調整額327百万円は全社費用に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額366百万円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産等でありませ

(関連情報)

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	合計
94,435	11,099	105,534

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	合計
29,251	6,289	35,540

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社山星屋	10,838	製菓事業及び洋菓子事業

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の売上高の金額が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	合計
32,891	7,017	39,908

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社山星屋	11,269	製菓事業及び洋菓子事業

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	洋菓子事業	製菓事業	計				
減損損失	32	—	32	—	32	—	32

(注) 当社が保有する洋菓子事業の直営店舗に係わる固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失32百万円を計上いたしました。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	洋菓子事業	製菓事業	計				
減損損失	113	4	118	—	118	—	118

(注) 当社が保有する洋菓子事業の工場及び直営店舗に係わる固定資産や、当社連結子会社が保有する製菓事業に係わる固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失118百万円を計上いたしました。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	2,170.11円	2,246.82円
1株当たり当期純利益金額	37.62円	64.90円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	969	1,672
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	969	1,672
期中平均株式数(千株)	25,775	25,775

(注) 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	60,640	63,067
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	55,936	57,913
貸借対照表の純資産の部の合計額と 1株当たり純資産額の算定に用いら れた普通株式に係る期末の純資産額 との差額の主な内訳(百万円)		
非支配株主持分	4,704	5,153
普通株式の発行済株式数(千株)	25,784	25,784
普通株式の自己株式数(千株)	8	9
1株当たり純資産額の算定に用いら れた普通株式の数(千株)	25,775	25,775

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

(1)代表者の変動

該当事項はありません。

(2)その他の役員の変動 (2025年3月25日付)

①新任取締役候補

取締役 経理本部長 荒 畑 克 也
(現 執行役員 経理本部経理部長)

②昇任予定取締役

取締役副社長 洋菓子事業本部担当、菓子事業本部担当、購買担当、Eコマース担当、洋菓子事業本部長 瓜 生 徹
(現 専務取締役 洋菓子事業本部担当、菓子事業本部担当、購買担当、Eコマース担当、洋菓子事業本部長)

専務取締役 キャラクターライセンス担当、菓子事業本部長 富 永 寿 哉
(現 常務取締役 キャラクターライセンス担当、菓子事業本部長)

常務取締役 海外事業担当、菓子事業本部生産本部長 古 田 健
(現 取締役 海外事業担当、菓子事業本部生産本部長)

③退任予定取締役

専務取締役 経営企画担当、総務人事担当、経理担当 宮 崎 広
(当社顧問に就任予定)

④新任監査役候補

常勤監査役 安 井 泰 宏
(現 常務執行役員 経理本部長)

以 上